



作家  
元国際線乗務員  
**黒木安馬**

【プロフィール】高校時に米国留学後、早稲田大学を経てJAL国際線客室乗務員として30年勤務。世界初の「カラオケ・フライト」や「1万メートル上空・北島三郎機上コンサート」などを実現させる。千葉の自宅は1300坪の山林を開墾してプール、テニスコート、コンサートホール等を手作りする。現在、(株)日本成功学会社長として自己啓発や社員教育で講演中。著書に『ファーストクラスの心配り』、『あなたの人格以上は売れない!』(プレジデント社)、『成「幸」学』(講談社)、『出過ぎる杭は打ちにくい!』(サンマーク出版)、『面白くなくちゃ人生じゃない!』(ロングセラーズ)、『小説・球磨川』(上下巻・ワニブックス)、『雲の上で出会った超一流の仕事の言葉』(あさ出版)などがある。  
E-mail:yasuma@myad.jp URL:http://www.7b.biglobe.ne.jp/~sanpercent-club/

21世紀だ！———人生・農業リセット再出発 276

**今太閤 コンピューター付き人間ブルドーザー総理  
人情家田中角栄の素顔**

**「角** 栄のお庭番」と呼ばれ、最後まで秘書を23年間務めた朝賀昭は私に言った。「お庭番の仕事は墓場まで持っていくと信じてきたが、今その禁を破る」。新潟の実家から15分の距離に田中角栄記念館がある朝賀は、中央大学を出るとすぐ角栄の秘書となった。国会議事堂近くの日比谷高校3年在籍時、自民党本部でアルバイトをしていた朝賀は、当時、政調会長だった角栄と会い、同郷出身と分かって「朝賀、来年高校を卒業したら大学はどこを受けるんだい」。「僕は大学には行かずに板前になろうかと思っています」。角栄の顔色が変わってカミナリが落ちた。「キミはオレのそばにいて、オレが学校を出ていないことがどれだけハンディになっているのか分らんのか。学問はどれだけやっても人生の邪魔にはならんぞ。オレは実力では誰にも負けない。でも、彼らは一流の大学を出ている。しかし、オレは小学校しか出ていないんだよ。おい、分かるか」

**角** 栄は「ロッキード事件」で逮捕されて有罪判決の汚名屈辱のまま、この世を去った。米ロッキード社が全日空にトライスター旅客機を購入するように丸紅商社を通じて角栄総理に5億円の賄賂を渡した罪？ ロッキード事件が世に暴露されて逮捕まで、角栄は「おい朝賀、トライスターって何のことだ？」と、二人だけのエレベーター内で聞いてきたとか！ にわかには信じられないことだが、本当に知らなかったらしい。

**太** 平洋戦争敗戦後からアメリカのポチとして言いなりの傀儡政権としてきた日本が、急速に経済復興を遂げて、角栄は日中国交回復に目途をつけて新しい戦後体制へ向かった。角栄が、ニクソン大統領やキッシンジャー国務長官に事前にお伺いを立てないで、日中共同声明の独自調印で北

京に出かけて「お国には只今もわが国民数名が抑留拘禁されている、直ちに釈放願いたい!」と、夕食会で周恩来のテーブルを激しく叩いて迫り、釈放実現させた。米国抜きで、独断先行で日中国交回復交渉に走ってニクソンに睨まれ、見せしめにアメリカの罠に嵌められた!? 説など、不可解な謎は今でも残ったままだ。側近の朝賀本人の口から聞いて、まさに驚きの連続でしかなかった! 事実、ロッキード裁判記録では、丸紅から角栄に5億円を渡したとする証言は、丸紅社員側証言だけを一方的に有効証拠として、角栄側には証言や弁明の機会は一切与えていない不思議な裁判、権力の黒い闇の力が覆いつくしたままの幕引きだった。ロッキード商談とは関連性の無い総理をアメリカ議会委員会証言にまで繋げて捏造報道を世界的発信して罠にはめる。政敵と政争……。

**不** 思議なのは、角栄の後釜に座った三木武夫総理が後押しして、新潟県人である稲葉修法務大臣が総理逮捕状に押印していることである。1918年新潟生。29歳で衆議院議員に当選。32歳で一級建築士。54歳で総理大臣就任、ニクソン大統領と会談。日中国交正常化、58歳、ロッキード事件で逮捕、三木武夫が総理になる。75歳で死去。この真実は、2021年出版の真山仁、ノンフィクション『ロッキード』などでも詳細が扱われているが、まさに政治の権力闘争。国際線機内で「総理ご無沙汰いたしておりました」「お久しぶりだねえ、ところで名前はなんだったけな、物忘れがひどくてねえ」「失礼いたしました、黒木でございます」「それは知っているよ! 下の名前だよ、下の」。かくして彼はまわりの人たちのフルネームを一瞬にして覚え、誰をも味方につける人心掌握の天才だった。